

武蔵野市第四期基本構想・長期計画策定委員会（第22回） 会議要録

日 時：平成16年7月12日（月） 午後7時～8時40分

場 所：武蔵野市役所第802会議室

出席者：東原委員長・小木副委員長・鶴川委員・増山委員

村田委員・古田土委員

企画調整課長・財政課長ほか

1 開 会

2 議 事

（1）全員協議会の結果について

6月28日開催の全員協議会での「計画案」の協議の結果について討議を行った。

・家族的責任

【委員長】議員の問題提起は、我々や市長のいう「家族的責任」という言葉とニュアンスがちがう。誤解されないような記載について検討した方がよい。

・乳幼児医療費

【委員長】乳幼児医療費助成拡大は、他がやっているということと関係なく、子育てに関する公平な関与として実施するものだ。

・部活動

【委員長】学校の部活動に対する積極的なトーンを出したい。

・桜堤調理場

【委員長】桜堤調理場はいつ頃まで持ちそうか。

【事務局】設置が40年代の初めであり、対策立案の優先順位は高い。

・中学校昼食対策

【委員長】「制度化する」は、文章としてわかりにくい。言わんとすることはどういうことか。

【委員】あらかじめ誰でも弁当が発注できるシステムが制度化されればよい。

【委員長】この文章では言わんとすることがわかりにくい。

・学童クラブ

【委員長】あり方の検討が進んでいれば、もう少し書けるのではないかというのが、私の考えだ。文章の組み立てを直した方がよい。

・自主防災組織

【委員】組織率が40%という表現では、過大に見えてしまう。16組織しか

ないという書き方にしたい。

・協働推進のサポートセンター

【委員長】サポートセンターという言葉は行政内部では固まっているのか。

【事務局】機能として必要なものをそう表現した。

・男女共同参画

【委員長】「社会風土づくり」も大きな言葉だ。使うべきか。

【委員】施策の目指すところでもあり、出した方がよい。

・外かく環状道路

【委員長】「積極的に対応」ではわからない。

【委員】都市計画が変更されていない以上、地上部分についても考えていかねばならないというのが私の考えだ。

【委員長】「しかし地上部は依然として残っている」という書き方で間違いではないだろう。

・駐輪場

【委員長】登録駐輪場を無理やりつぶすということではない。必要な駐輪場はつくるということを入れていく。

・緑町団地

【委員長】市のコミットメントを書き込むべきだ。都はここまでやるが、市はこういうふうに関与をしていると。

・ICカード

【委員長】個人情報保護など問題点はあるが、検討は書かねばならない。

【委員長】市民ヒアリングを終えた段階で皆さんの意見を聴取し、直すところは直していく。

(2) 地区別市民ヒアリングについて

22日(西部地区)、23日(中央地区)、24日(東部地区)の日程について再度確認がされた。